YUTAKA
Clean for the Future



2016年3月期
決算説明会

2016年5月13日
株式会社ユタカ技研

Ⅰ．2016年3月期 決算概況

Ⅱ．2017年3月期 見通し

Ⅲ．事業状況

2016年3月期

決算概況
＜ IFRS ＞

16年３月期連結決算概況

（単位：億円）

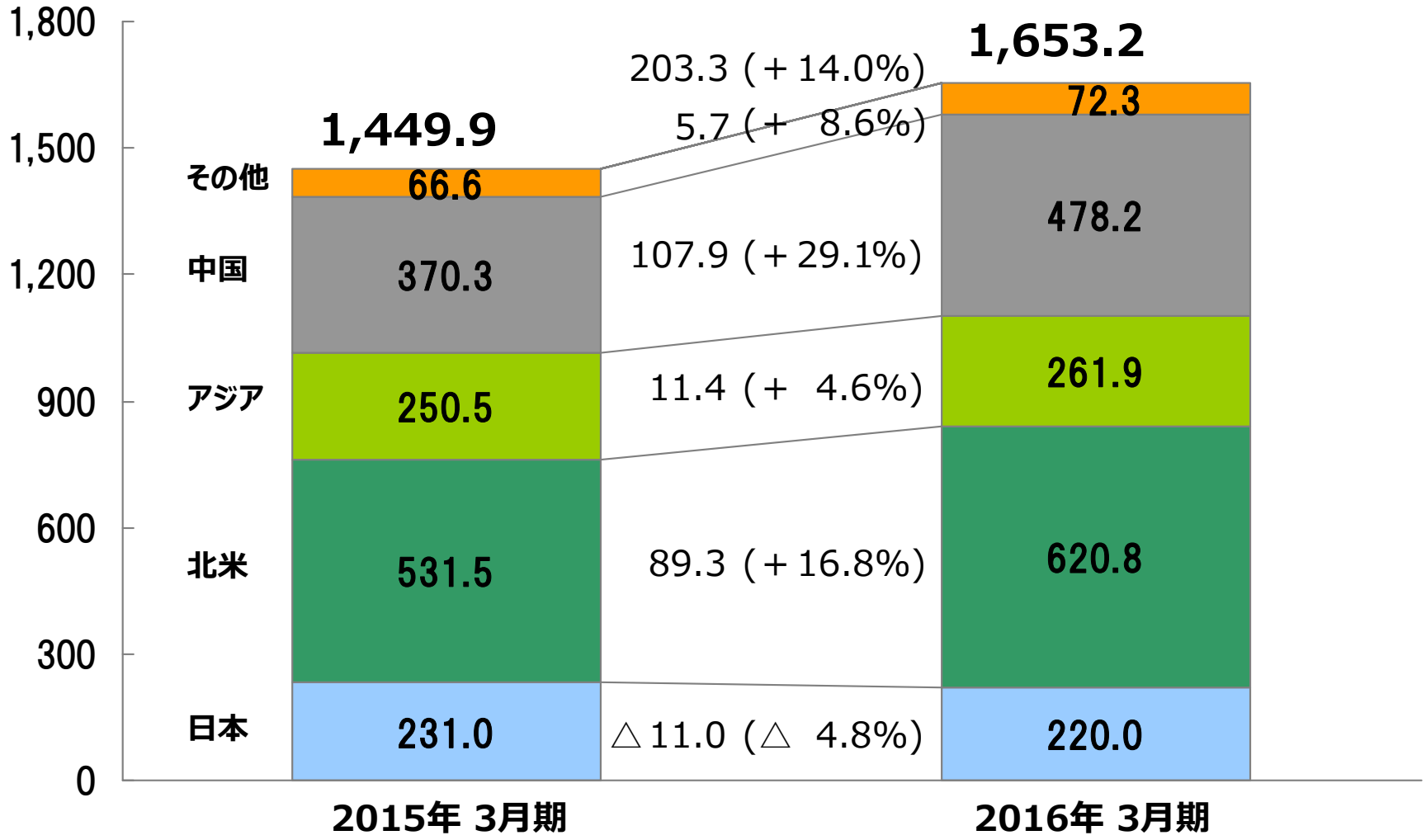
	2015年 3月期	2016年 3月期	増　減
売　上　収　益	1,449.9	1,653.2	14.0%
営　業　利　益	114.9	146.4	27.4%
税 引 前 利 益	119.7	134.5	12.4%
当　期　利　益	88.8	87.3	△1.7%
親会社の所有者に帰属する当期利益	75.0	71.9	△4.1%
基本的１株当たり当　期　利　益	506.23円	485.47円	△20.76円
１株当たり配当金	40.00円	50.00円	10.00円
	($1=¥110)	($1=¥120)	

海外における受注増に加え円安効果により営業・税引前利益で最高益更新

16年３月期連結決算概況 地域別売上収益

（単位：億円）

（セグメント間の内部売上収益及び振替高を除く）

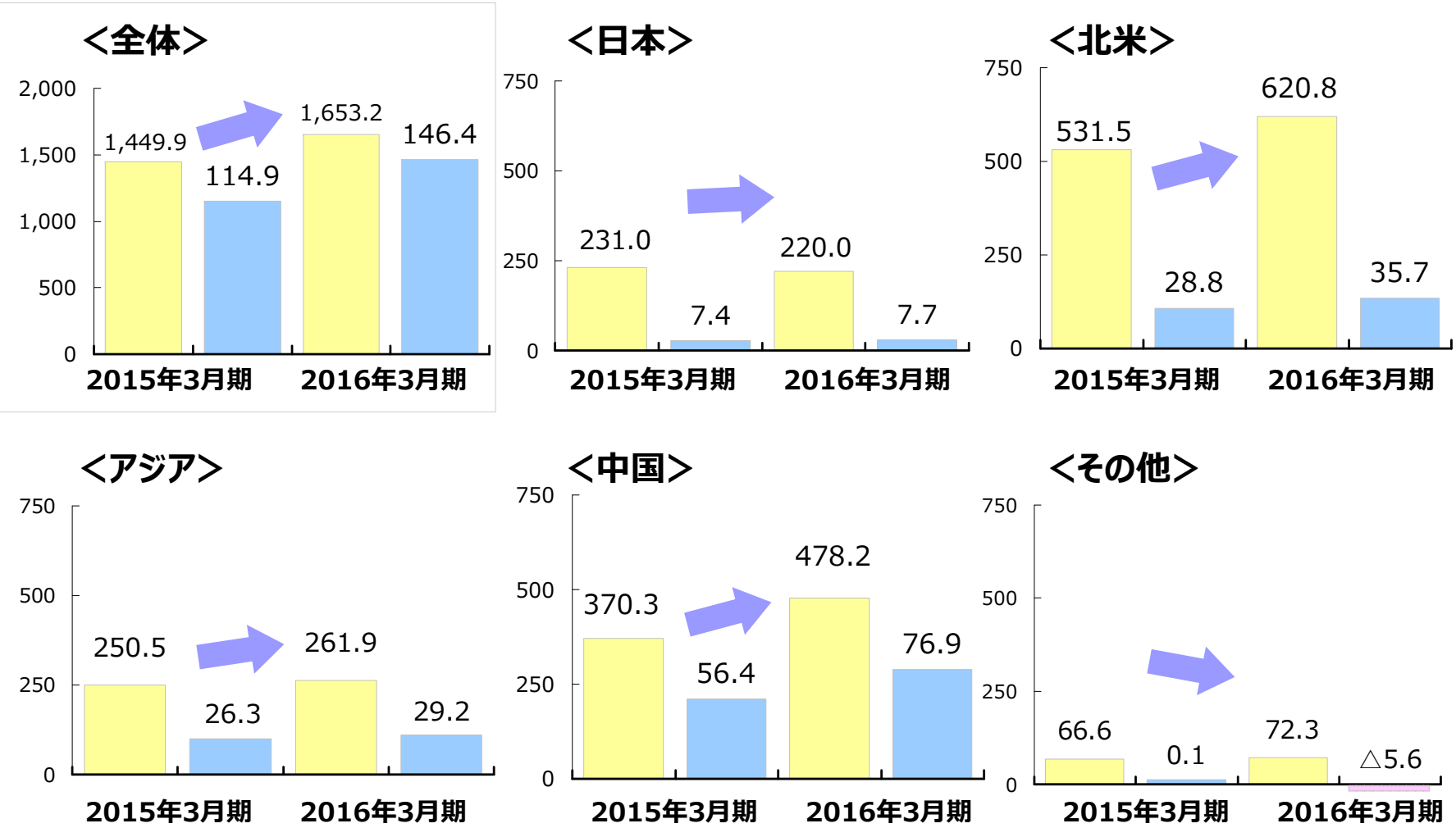


海外（特に中国･北米）の受注増加や円安に伴う換算差で増収

16年３月期連結決算概況 地域別営業利益

(単位：億円)

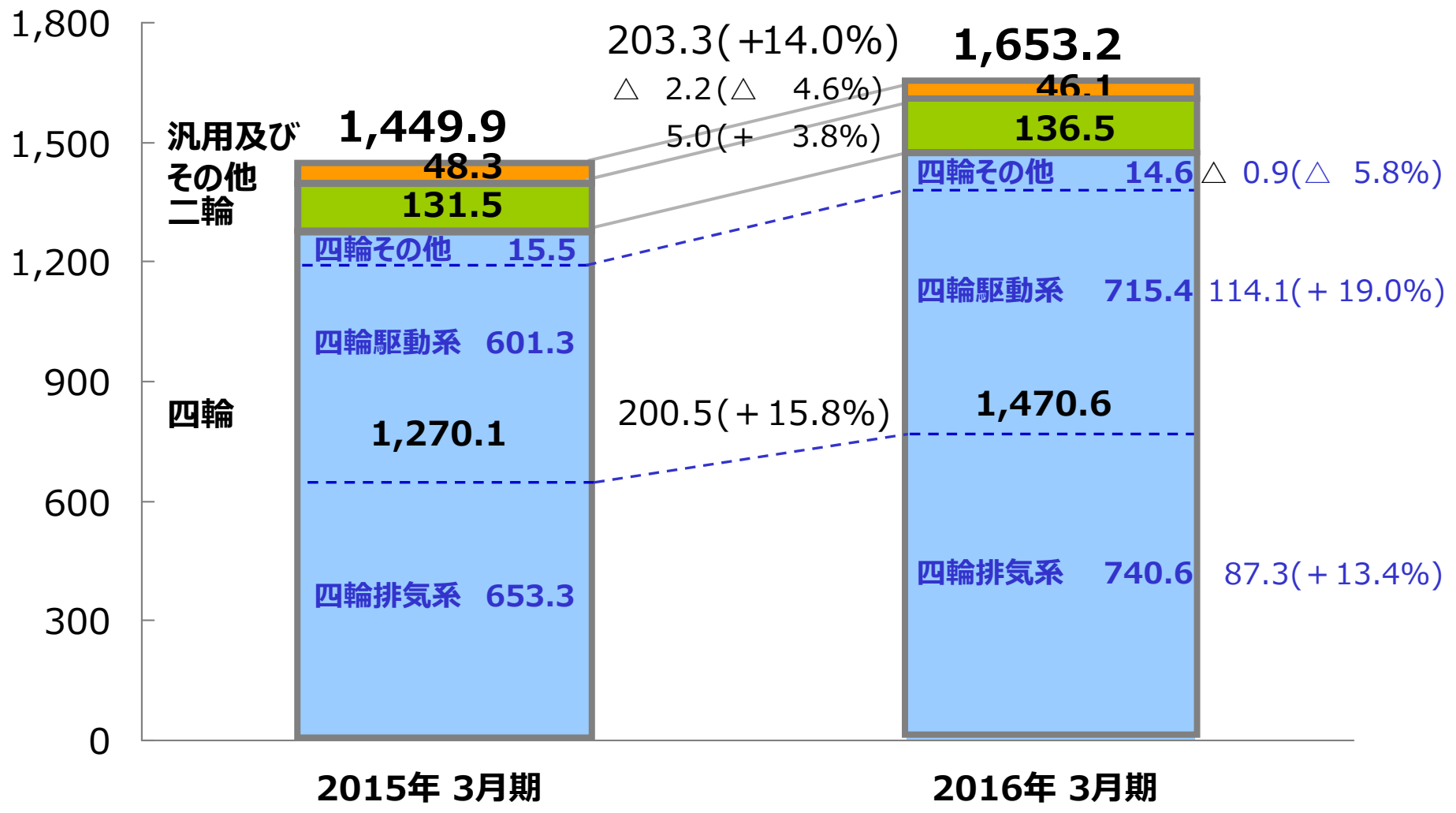
売上収益　利益増減
営業利益



その他の地域を除く全地域で増益

16年３月期連結決算概況 製品別売上収益

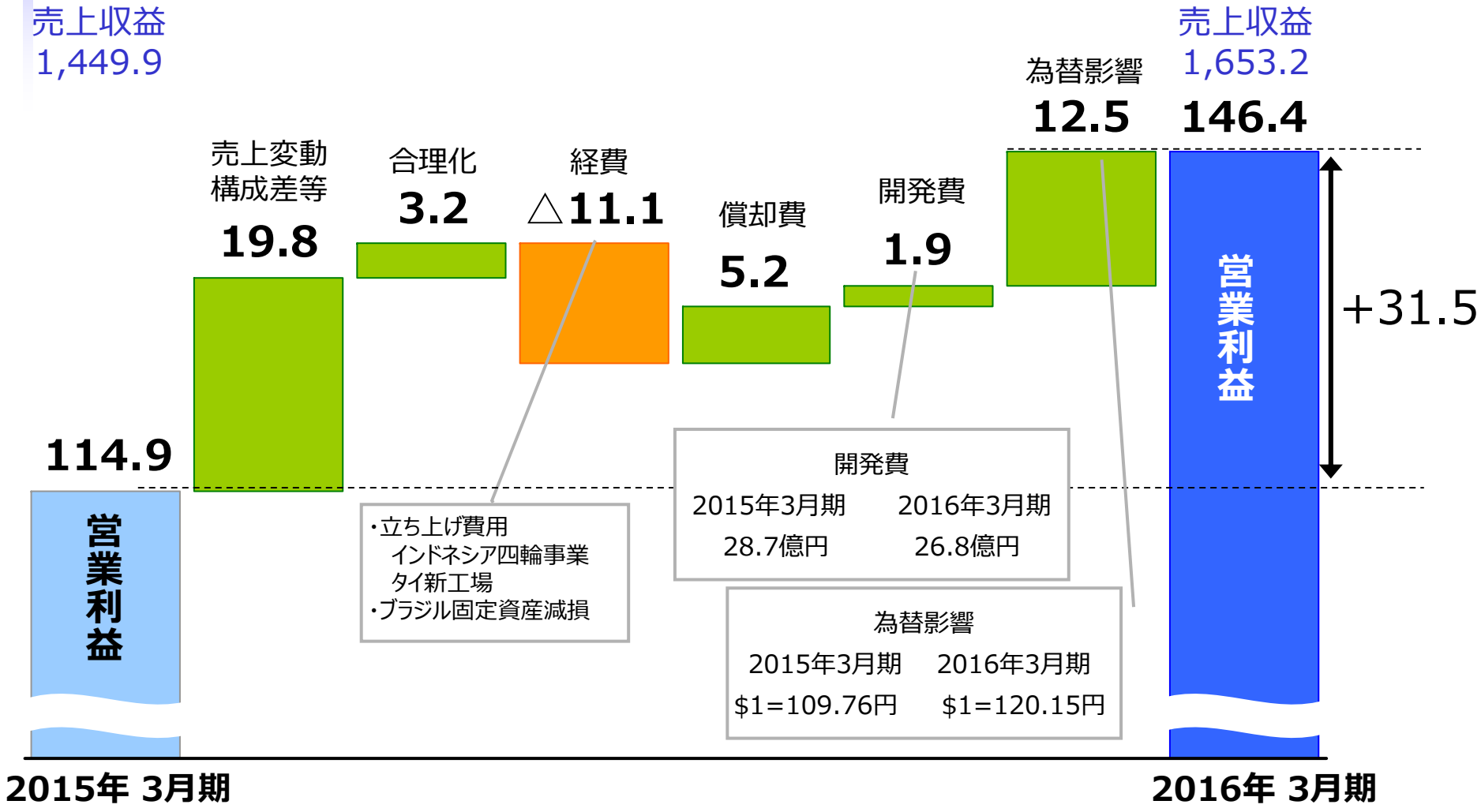
(単位：億円)



主に四輪自動車部品で増収

16年３月期連結決算概況 営業利益 増減要因

（単位：億円）



経費の増加があったものの増収効果や合理化効果に加え円安効果もあり大幅増益

2017年3月期
見通し
＜ IFRS ＞

17年３月期連結見通し

（単位：億円）

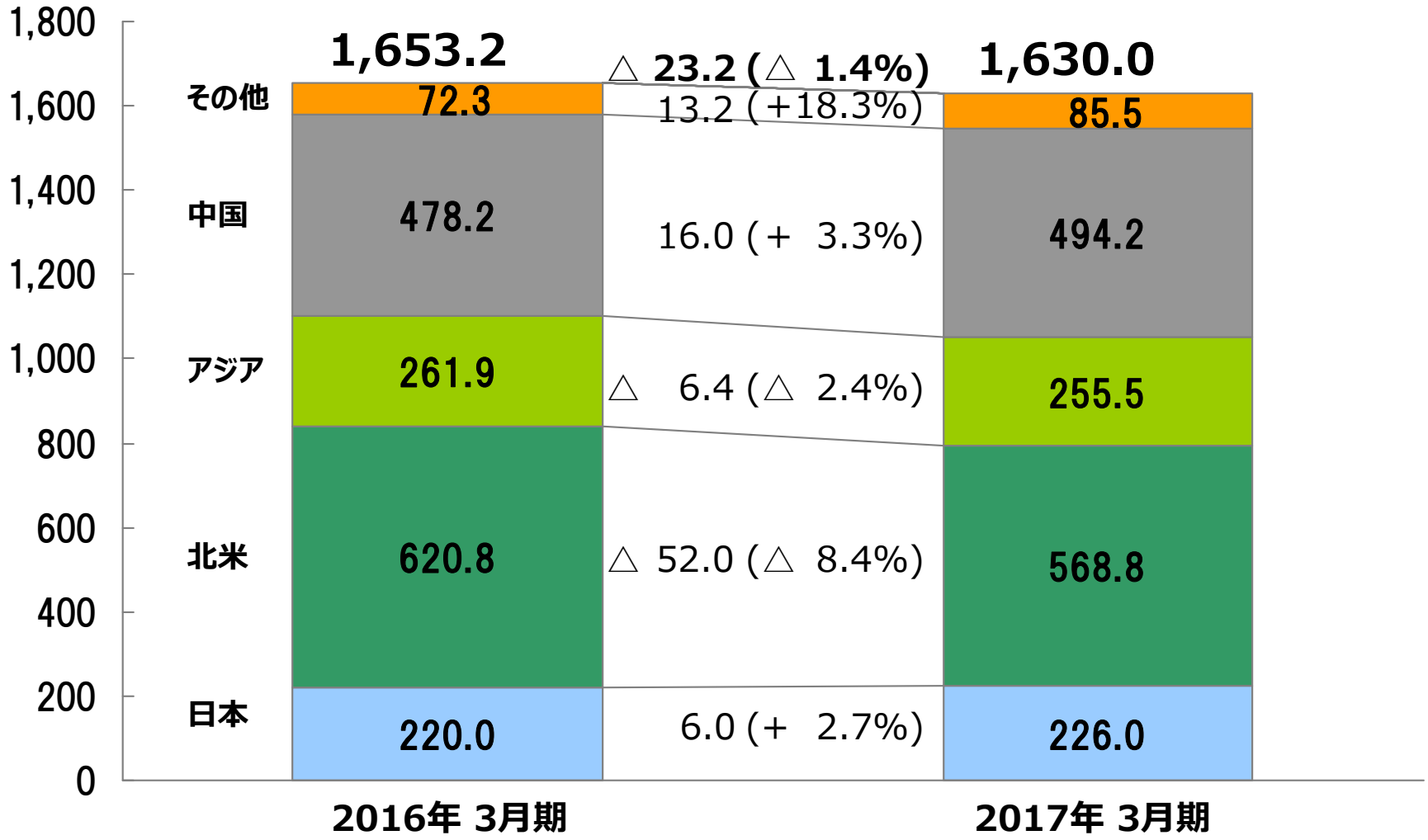
	2016年 3月期	2017年 3月期	増　減
売上収益	1,653.2	1,630.0	△1.4%
営業利益	146.4	128.0	△12.6%
税引前利益	134.5	125.0	△7.1%
当期利益	87.3	81.0	△7.2%
親会社の所有者に帰属する当期利益	71.9	65.0	△9.7%
基本的１株当たり当期利益	485.47円	438.64円	△46.83円
１株当たり配当金	50.00円	60.00円	10.00円
	($1=¥120)	($1=¥110)	

増収や合理化効果はあるものの、円高影響で減収減益

17年３月期連結見通し 地域別売上収益

（単位：億円）

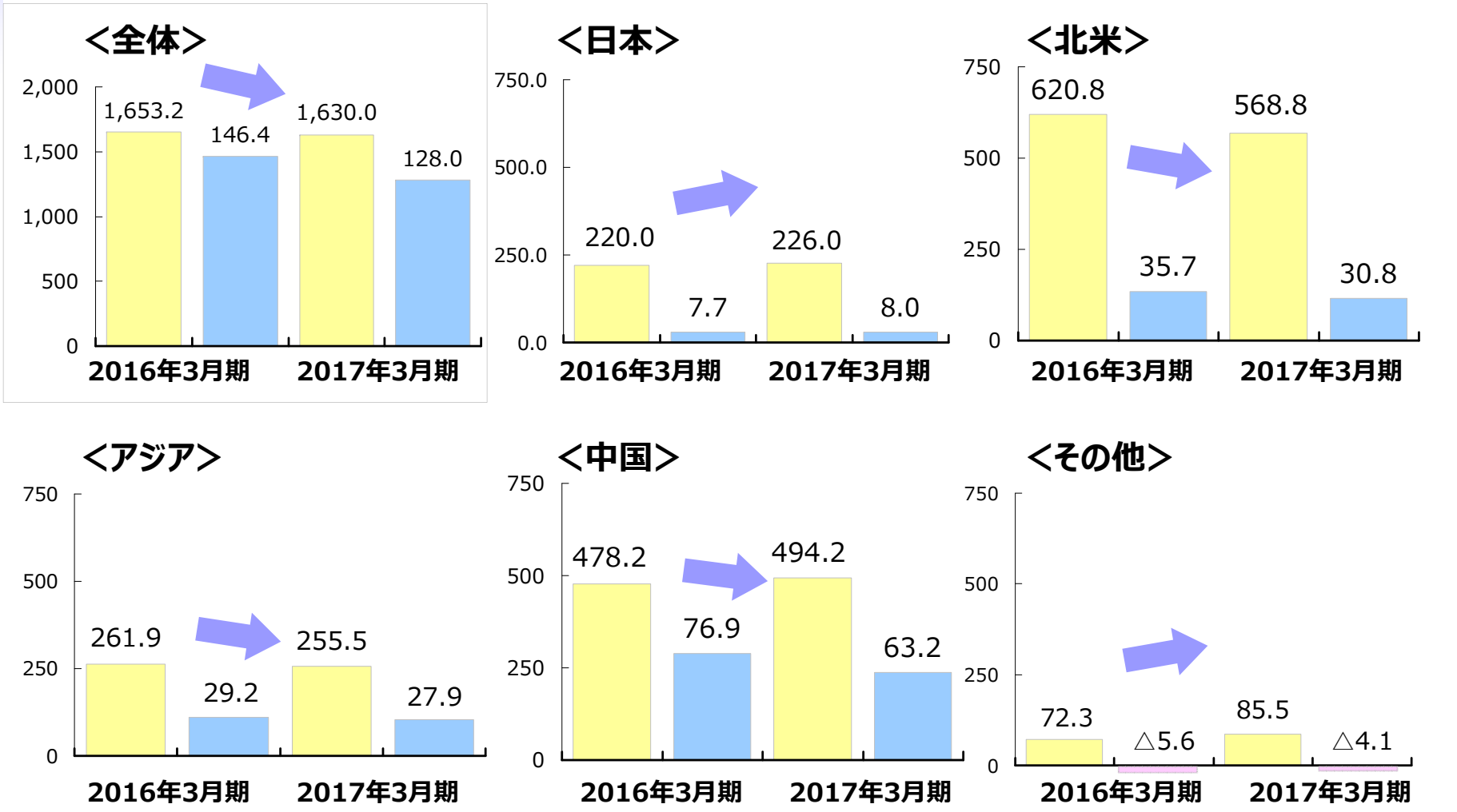
（セグメント間の内部売上収益及び振替高を除く）



海外(北米・アジア)の為替影響により減収の見通し

17年３月期連結見通し 地域別営業利益

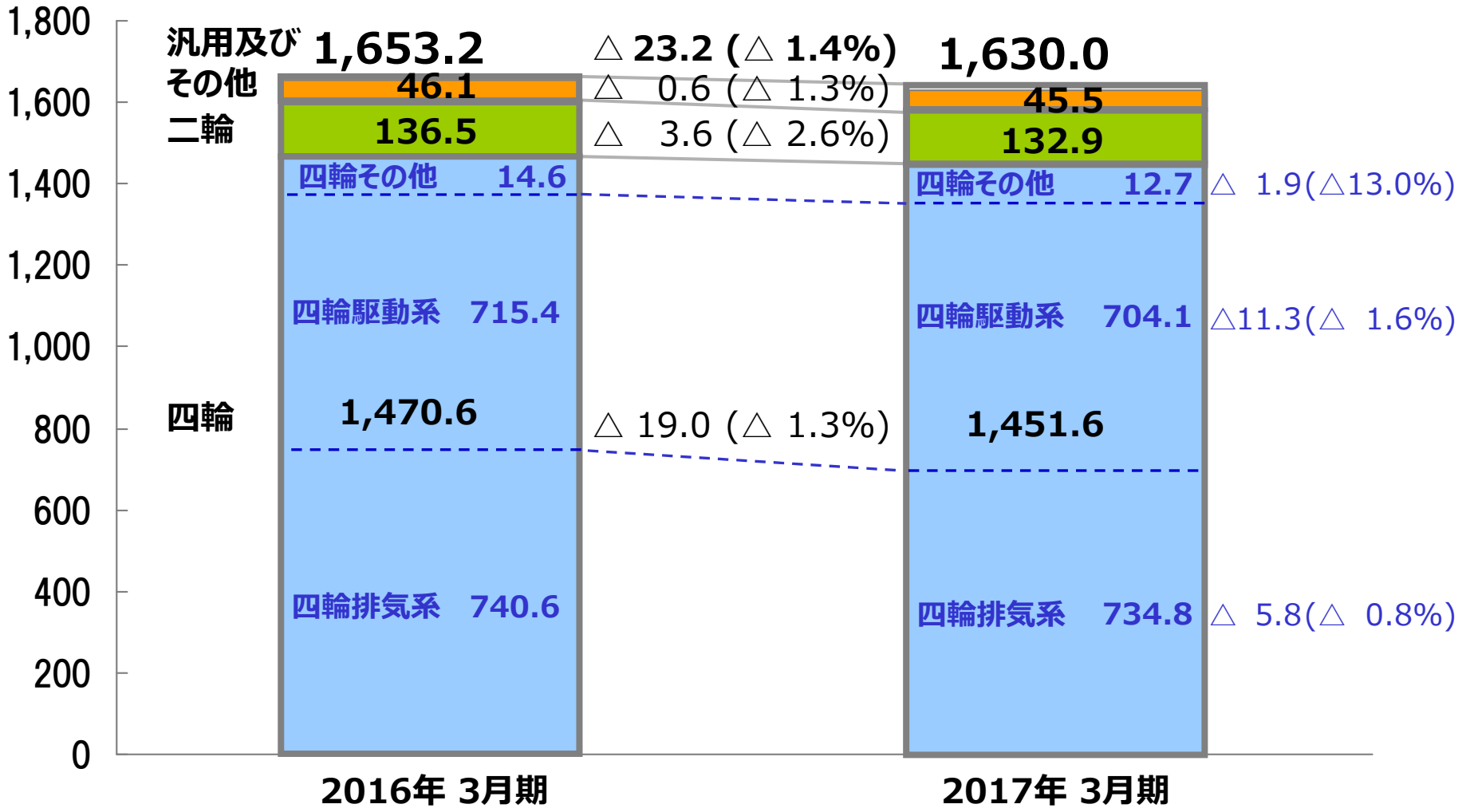
(単位：億円)



海外(北米・アジア・中国)の為替影響により減益の見通し

17年３月期連結見通し 製品別売上収益

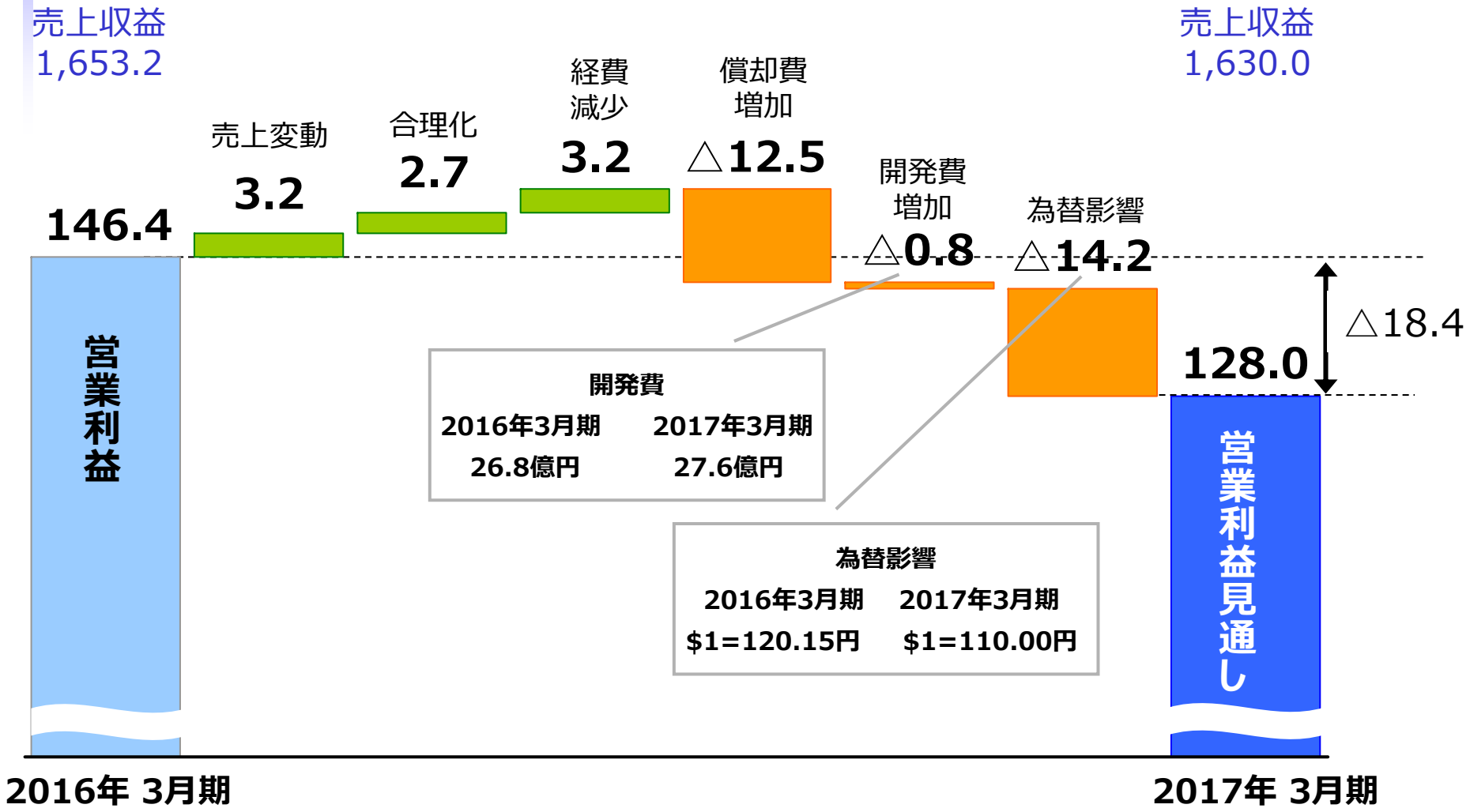
(単位：億円)



為替影響により全製品で減収の見通し

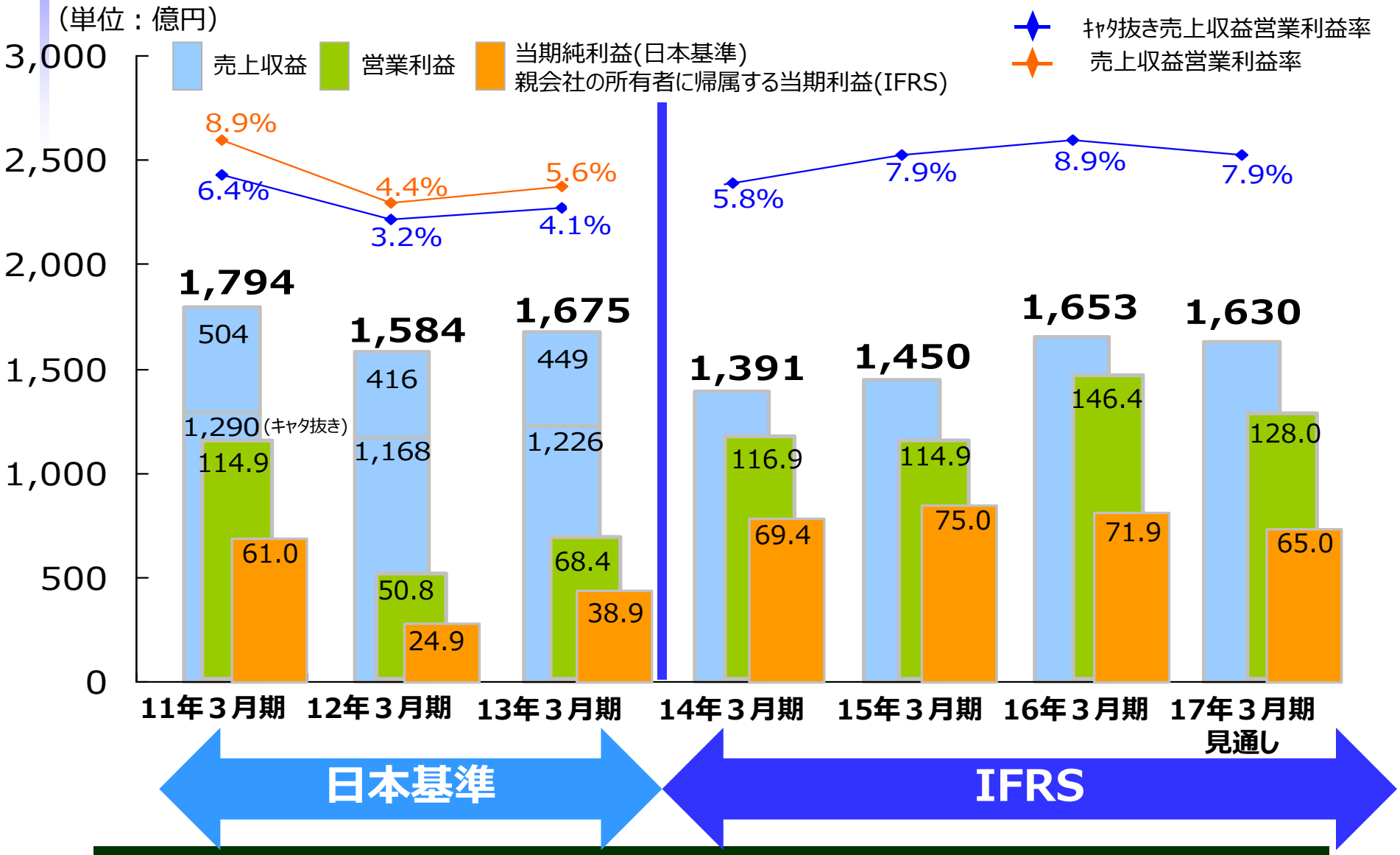
17年３月期連結見通し 営業利益 増減要因

(単位：億円)



為替影響を除くと、概ね前期と同水準

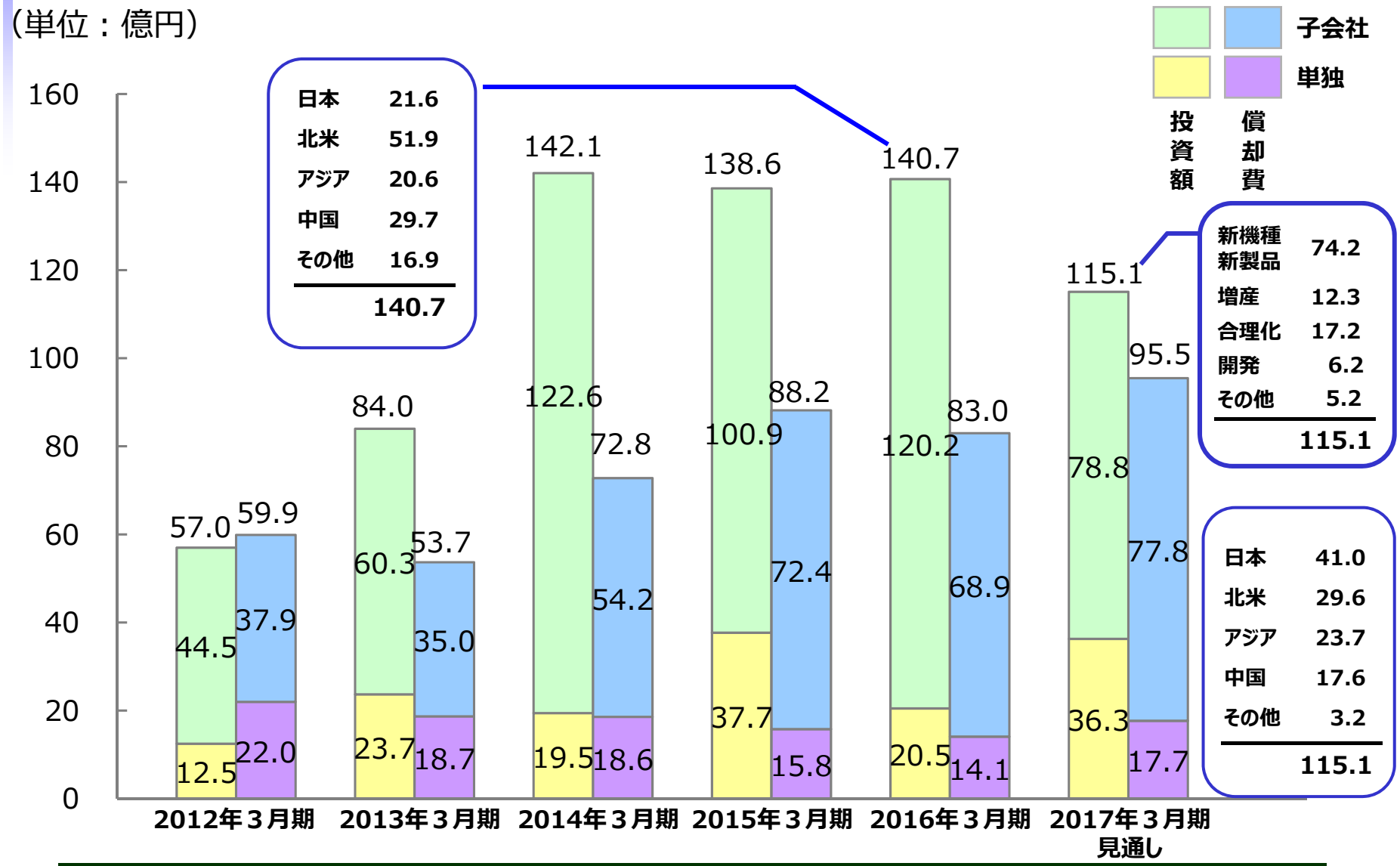
17年３月期連結見通し 売上収益及び利益の推移



円高影響はあるものの、17年3月期も前期と同水準で推移

17年３月期連結見通し 設備投資額の推移

(単位：億円)



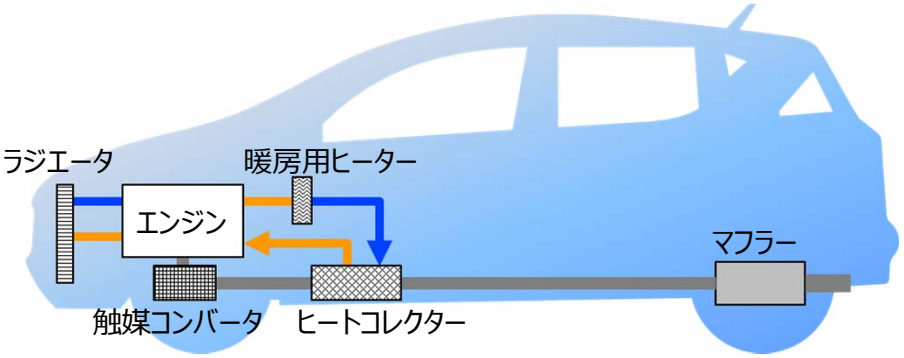
新機種・新製品向投資が継続するものの、投資全体では減少傾向

事業状況

新開発 ヒートコレクター　①ヒートコレクター(排熱回収器)とは？

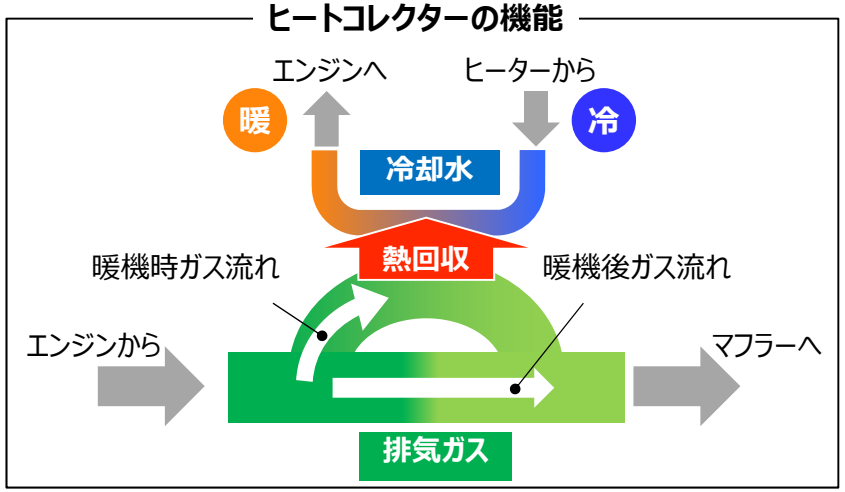
機能

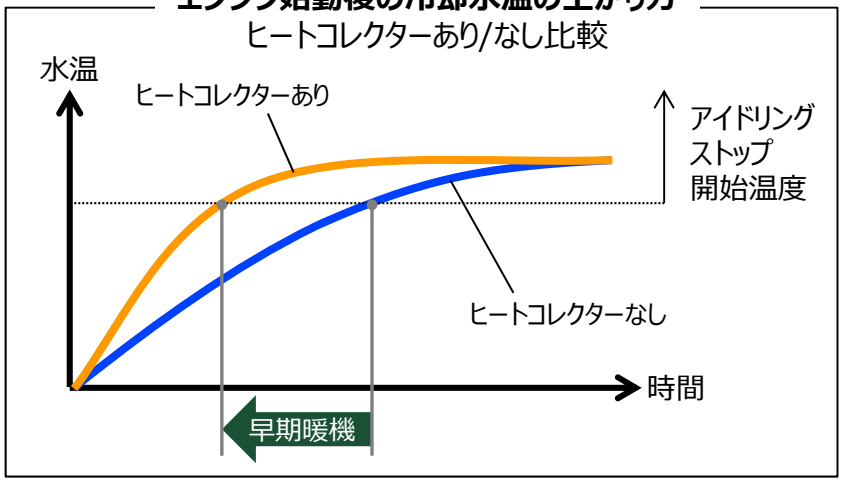
排気ガスの熱エネルギーをエンジン冷却水に回収し暖機を促進させ燃費と暖房性能を向上させる



■燃費向上
- 暖機促進
- アイドリングストップの早期化

■暖房性能向上
- ヒーター温度上昇の早期化

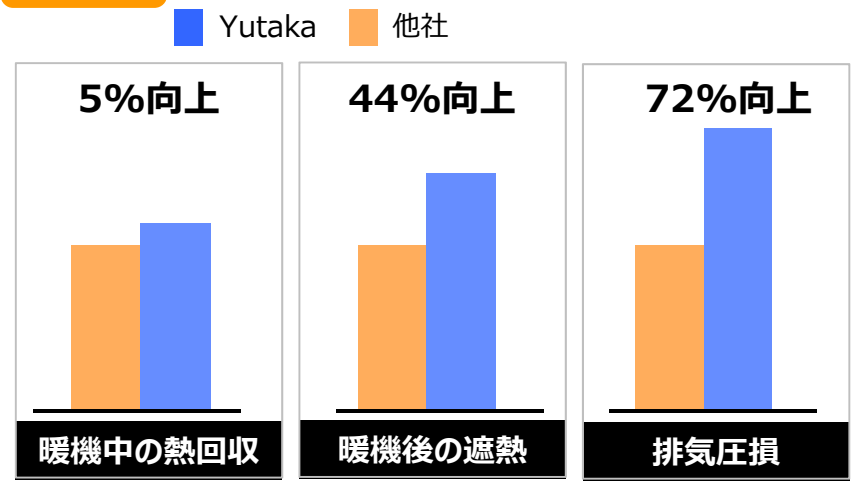




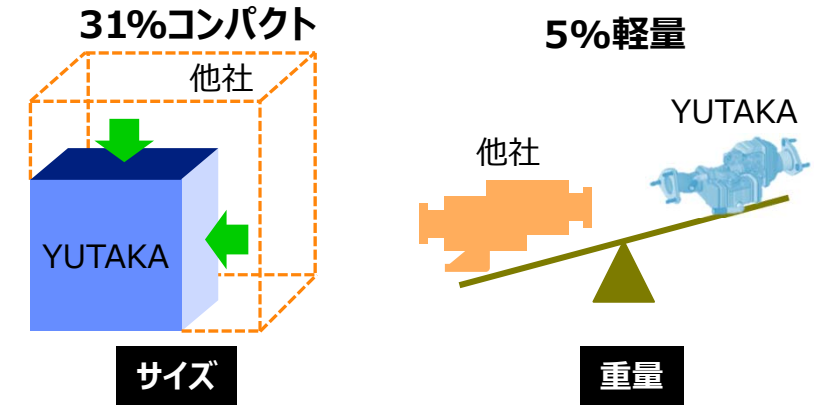
Yutaka新製品のご紹介

新開発 ヒートコレクター ②Yutaka製ヒートコレクターの特徴

性能 業界TOPの高性能を発揮

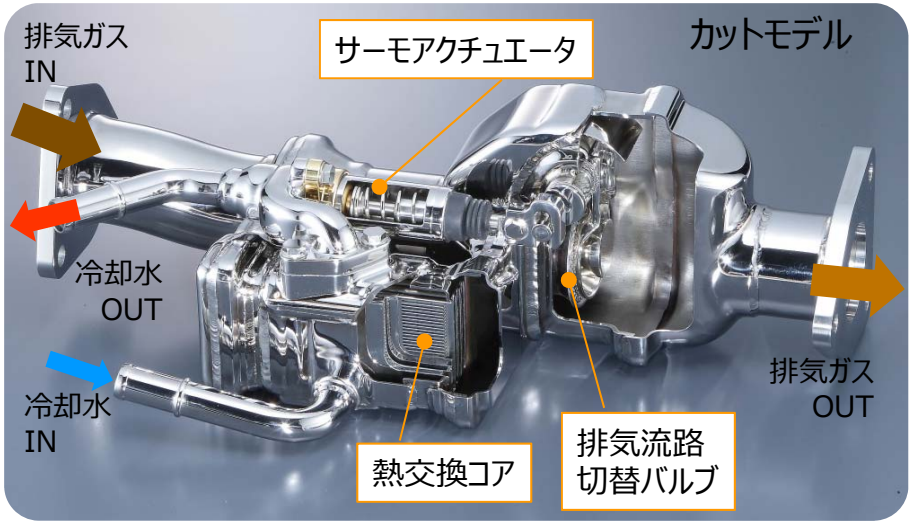


小型化 コンパクト・軽量



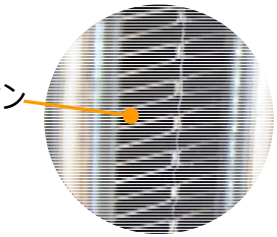
※社内評価による

ヒートコレクター構造



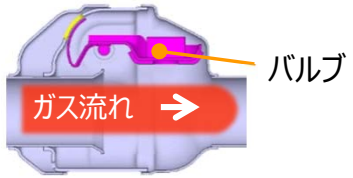
熱交換コア

小さくて高性能な熱交換コア
・精密プレス加工技術により
伝熱フィンのピッチを極小化



排気流路切替バルブ

低圧損でエンジン出力を損なわない
サーモアクチュエータの改善で
大きく開く切替バルブ



ヒートコレクター関連特許 21件登録済み

栃木開発センター 東地区拡張　土地･建物取得

東地区拡張の目的

・新商品開発/試作各エリアの業容拡大に対応する拡張と整備
・将来の主幹製品開発/他販展開強化のためのスペース確保

新商品開発エリアの拡大

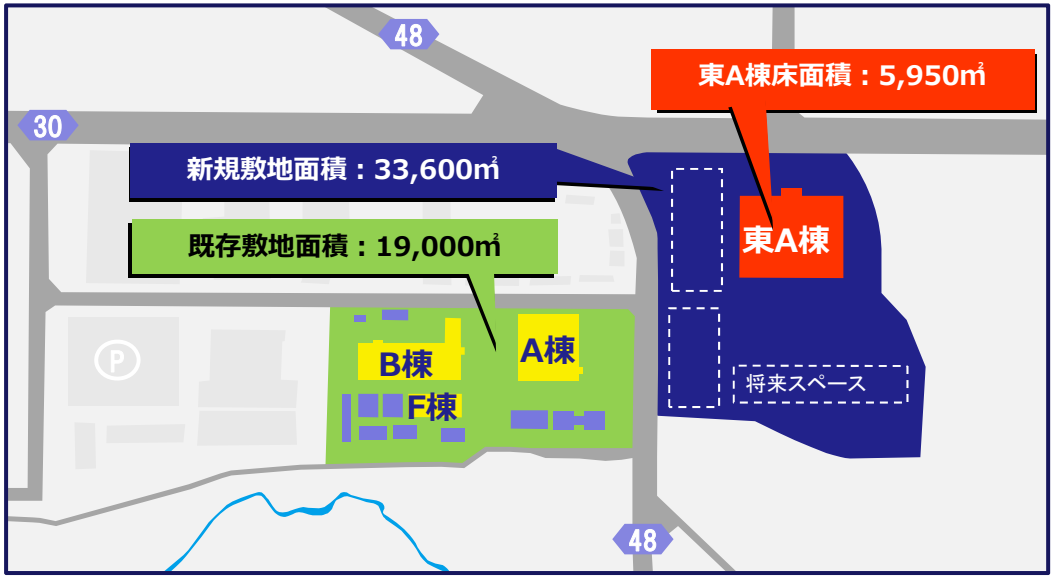
・熱マネ、新商品開発設備の集約
・新規設備スペース確保

・HOT･COLD試作スペース拡大

※HOT･･･触媒ｺﾝﾊﾞｰﾀ, COLD･･･ｻｲﾚﾝｻｰ

将来の開発強化スペース

・新規大型設備設置
・事務所拡大



東A棟



内部




YUTAKA
Clean for the Future